

春の叙勲・褒章

春の叙勲・褒章が発表され、長年それぞれの分野でその進展に尽くされた功績により、市内からは叙勲に4人、褒章に2人が荣誉に輝かれました。

平成20年

瑞宝小綬章



海上保安功勞
元海上保安庁灯台部電波標識課
オメガセンター所長

一関市出身。昭和28年海上保安庁職員となり、尻屋崎、綾里崎などの灯台や第1(北海道)など五つの管区海上保安本部勤務などを経て、平成5年から1年間、オメガセンター所長を務められ、船舶などの航行の安全に尽くされました。「職場の上司や先輩、同僚の皆さんの指導、そして家族の支えで、憂いなく仕事に励むことができました。受章はそのおかげです」と語られました。

瑞宝単光章



消防功勞
元室根村消防団副分団長

一関市室根町出身。昭和21年に矢越村警防団に入団し、30年室根村消防団員。室根村職員として勤務の傍ら同団分団長を務められ、火災予防活動と防火思想の普及、団員の教育養成に尽くされました。「受章は身に余る光栄。これも皆さんのご指導のおかげです。今後もこの光栄に報いることができるよう努めていきたい」と語られました。

瑞宝双光章



教育功勞
元一関幼稚園長

東京都渋谷区出身。昭和34年青森藤幼稚園教諭となり、カトリック清心幼稚園を経て44年一関幼稚園勤務。56年から24年間同園長を務められ、幼児教育の発展に尽くされました。現在も講演活動などで活躍されています。「周りに支えられ、大好きな子どもたちと過ごしたことが何よりの喜び。その上このような荣誉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです」と語られました。

瑞宝単光章



統計調査功勞
元各種統計調査員

一関市花泉町出身。農業の傍ら昭和27年に県農林業統計調査員となり、農林業センサスや国勢調査、事業所、商業統計など数多くの調査員を長年務められ、統計調査業務に尽くされました。「調査で夜間に足を運んだり、農作業との日程が重なり大変なこともありましたが、地域の皆さんの温かい協力で務めることができました。受章は大変光栄なことと思います」と語られました。

藍綬褒章



調停委員功績
調停委員

一関市大東町出身。農業の傍ら昭和25年から平成17年まで12回の国勢調査に携わられたほか、農林業センサスをはじめ数多くの統計で調査員を務められ、統計調査業務に尽くされました。「行政の基礎となる大切な統計調査には信頼関係が第一と心掛けてきました。集落の皆さんの協力で長年務めることができ、それが受章につながったと感謝しています」と語られました。

藍綬褒章



統計調査功績
元国勢調査員

受章
おめでとう
ございます

元気に100歳

おめでとうございます

白石キヨシさん(花泉)

白石キヨシさんは4月23日、入所先の特別養護老人ホームソエル花泉で満100歳の誕生日

を迎えました。長女夫婦と孫夫婦、施設の皆さんによる長寿を祝う会が催され、阿部保健福祉部長が「100歳おめでとうございませう」と花束や記念品を手

渡しました。長女の赤沢元子さんは「料理も裁縫も得意だった母。若い時は趣味のコースなどでもダー的存在でした。いつまでも元気でいてほしい」と願いを語りました。

鈴木志づさん(一関)

鈴木志づさん(北十軒街)は5月15日、自宅で満100歳の誕生日を迎え、親族や友人が長寿を祝福しました。浅井市長から花束や記念品を贈られた志づさんは、友人から贈られたパースデーケーキのロウソクを元気に吹き消し、祝福の声に「ありがとうございます」とこやかに応じていました。

菅原ヤエ子さん(千厩)

菅原ヤエ子さん(千厩町宮田)は5月15日、自宅で100歳の誕生日を迎え、大勢の親族がヤエ子さんを囲み長寿を祝いました。浅井市長が花束と記念品を手渡し、ヤエ子さんは「ありがとうございます」と笑顔で応えました。

佐藤オイシさん(大東)

佐藤オイシさんは5月19日、満100歳の誕生日を迎えました。入所先の養護老人ホームこはぎ荘でお祝い会が開かれ、親族や施設の皆さんがオイシさんの長寿を祝福。阿部保健福祉部長から祝い状と花束が贈られると、オイシさんは「皆さんのおかげです。ありがとうございます」とお礼を述べました。



①花束を贈られ笑顔の白石キヨシさん(左)
②パースデーケーキのロウソクを元気に吹き消した鈴木志づさん(右から2人目)
③大勢の親族に囲まれて晴れやかな表情の菅原ヤエ子さん(前列中央)
④金色のずきんとちゃんちゃんこを身にまとい、にこやかな表情の佐藤オイシさん(前列中央)

読書活動への功績で 文部科学大臣賞受賞

おはなしの会TOMO



受賞報告に訪れた千葉シズ工代表(中央)と会員の中村みゆきさん(左)

おはなしの会TOMO(千葉シズ工代表、会員10人)は4月23日、子どもの読書活動の実践に優れた効果を上げた功績で文部科学大臣賞を受賞しました。

千葉代表と会員の中村みゆきさんは5月1日、市役所を訪れ、浅井市長に受賞を報告。千葉代表は「図書館、公民館の支援を受けてこれまで活動を続けられた。子どもたちが良い本に触れられるような環境づくりに今後も努めたい」と抱負を述べました。

同会は平成10年、子どもたちやお母さんたちと本を楽しもうと設立。前年から始めた子ども文庫を継続するとともに、乳幼児や小中学生を対象とした「おはなし会」など、幅広い活動を行っています。